

An illustration of a child with brown hair and a yellow shirt, holding up a large orange handprint. The background features a blue sky with a white mountain peak and a green hillside.

“ばーった”は、席や場所、物など、たくさんの人に選択権のあるものを、いち早く確保する、占有するという意味の静岡の方言です。

### イラスト：すずきちえ

静岡市在住のイラストレーター・すずきちえさんは、イラストの仕事のほかに、子どもの本の講座の企画、おはなし会の開催、講座やワークショップの講師など、幅広い活躍をしています。今回、この冊子の作成にあたり、作品を使用させていただきたいとお願いしたところ、快く承諾してくださいました。ここに深く感謝いたします。

## はじめに

このたび『このほんばーった! 図書館員が選んだおすすめの本』を発行することになりました。

この冊子は、広く小学生から高校生までの若い皆さんにぜひ読んでほしい「良書のガイドブック」ともいえるものとなっています。

読書の大切さについては、研究者、教育者をはじめ多くの方々から語られているところです。最近の研究でも、本を多く読む環境にある家庭の子どもは、あまり本を読まない家庭の子どもに比べて、学力、人格形成、思考力に勝っているとの結果が報告されています。

しかし、読書の楽しさ、重要性は十分理解できたとしても、いざ、本を選ぶ段になると「どの本から読んだらよいか、迷ってしまう」というのが、多くの人の悩みだと思います。そんな時、ぜひ、この『このほんばーった! 図書館員が選んだおすすめの本』を参考にさせていただきたいと思います。

前回、発行した平成3年から18年の歳月が経ちました。この間、社会は大きく変化し、価値観も多様化してきました。また、たくさんの新しい本も発行されています。今回、この冊子を編集にするにあたりましては、昔から名著と言われている本を尊重する一方、新たな視点を加え、図書館の司書が2年半の歳月をかけ、慎重に選書、編集を行ってきました。市民の皆さま、とりわけ若い方々の読書の指針となればと考えています。

現在、子どもの読書環境の整備を目的に、「子ども読書活動推進計画」を定め、静岡市を挙げて取り組んでいます。明日の日本、静岡を担う子どもたちにとって、読書の喜びを知ってもらうことが、これから特に重要だと考えています。

平成21年11月

静岡市立中央図書館  
館長 津田 望